



きゅうしょくだよい



令和5年12月1日
くろかわのぞみ保育園
No.141

だんだんと気温が下がり、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。12月は食生活や生活リズムも乱れやすくなります。普段の食事に気を配りながら、風邪に負けない身体作りを心掛けましょう。給食では、体が温まる冬ならではの献立を取り入れています。

旬の食材

大根

1年を通して手に入れやすい野菜ですが、代表的な冬野菜のひとつです。煮物にしたり薬味にしたり様々な食べ方を楽しめます。ビタミン、ミネラル、食物繊維のほか消化を助ける酵素も豊富に含まれています。そして、川崎市政が来年100周年になることを記念して特産品の「大根」を使用した献立を取り入れました。

- ・味噌汁、吉野汁、けんちん汁など
- ・煮びたし



献立の紹介

- 日本各地の郷土料理やご当地グルメを子ども向けにアレンジして取り入れました。

・チキンチキンごぼう（山口県）

学校給食から県内に広まったとされる料理です。揚げた鶏肉とごぼうを甘辛いタレにからめました。

・あんかけスパゲティ（愛知県）

名古屋の喫茶店で生まれた料理です。トマト味のとろみをついたあんをかけたスパゲティです。

- ### 冬至の献立
- ・ぶりの柚子味噌焼き
 - ・かぼちゃの含め煮

かぼちゃの旬は夏ですが、保存がきき、栄養価も高いため、昔から風邪予防のために冬至にかぼちゃを食べます。冬至にゆず湯に入るのは、「冬至＝湯治」「柚子＝融通」をかけた縁起かつぎですが、太陽の力が再び強くなっていく日に体を清める意味もあったそうです。



具合が悪い時の食事

のどが痛い時

- ・固形物や香辛料は刺激になるので避け、なめらかで口当たりのよいものにしましょう。
- ・水分を多くして食べやすくします。おかゆやうどんなどに煮魚や豆腐料理などもよいでしょう。野菜もやわらかいものや刻んだものにします。かぼちゃや大根は煮るとのどごしがよくなります。



下痢の時

- ・食欲があるなら消化のよいものにします。りんごや人参にはペクチンがあり、腸の働きを整えます。下痢のひどい時は医師の指示に従いましょう。
- ・消化のよいもの：脂分の少ないもの（揚げ物は控えます）繊維の少ないもの、糖分の少ないものが良いです。おかゆや雑炊などに豆腐やささみ、卵などを少量入れたものがよいでしょう。また、味付けも薄めにします。

熱がある時

- ・発熱だけなら避ける食品はありませんが、消化の悪いものはやめておきます。嘔吐や下痢がなければ果物や果汁でビタミンCを補給しましょう。
- ・38℃以上の時は特に水分補給をこまめに。（薄いお茶、白湯、果汁、野菜スープなど）
- ・消化のよいもの：口当たりのよいもの、脂分の少ないもの。例：ゼリー、野菜のやわらか煮など